

(1) 概要

本市の公共下水道は、昭和48年に「多賀城市流域関連公共下水道事業」として着手し、本市大代地区に東北初の流域下水道として松島湾・七北田川などの公共水域の水質保全の緊急課題として整備し昭和53年に供用が一部開始した現在3市3町（多賀城市・仙台市泉区・塩竈市・七ヶ浜町・利府町）の生活排水処理施設である仙塩浄化センターを利用し処理している。事業開始から令和6年度末現在で既予定処理区域1418.7ga(汚水)の約98.3%に相当する1,395.2haの整備が完了し、汚水管渠はほぼ概成した状況となっています。

(2) 生活排水処理普及率の推移

生活排水処理人口普及率: R6 99.9%

R17 100.0%

R27 100.0%

(3) アクションプラン達成のための各事業の取組

1) 下水道事業（単独及び流域）

本市の汚水事業について汚水施設はほぼ概成していますが、今後、人口減少など下水道事業を取り巻く環境が厳しさを増すことから、中・長期的な将来把握を十分に行い経営改善に努めてまいります。

汚水施設の老朽化に伴う施設の更新については、汚水施設ストックマネジメント計画に基づき長寿命化が見込める更新方法等を検討し公共衛生を保つ重要なインフラ施設として維持・保全を図ります。

下水道処理人口普及率: R6 99.9%

R17 99.9%

R27 99.9%

2) 合併処理浄化槽事業

合併浄化槽については生活排水処理の普及に伴い令和27年度に向け世帯数は減少する見込みとなっています。

浄化槽処理人口普及率: R6 0.0%

R17 0.1%

R27 0.1%